

# 殺ダニ剤の登録一覧表

(2017年用)

JA全農山形 生産資材部

2016年12月1日作成

薬剤名	希釈液・混用	希釈倍数														特 性	お よ び	注 意 事 項	
		りんご	おうとう	もも	ぶどう	なし	きゅうり	トマト	なす	すいか	いちご	メロン	かき	菊 (花き)	食用 ぎく				ばら
ダニサラバフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハダニの全ての生育ステージに対して効果を示し、特に幼虫から若虫に対して効果がある。</li> <li>・天敵その他有用動物に対して影響が少ない。</li> <li>・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。</li> <li>・アリエティック水和剤、カルシウム剤と混用する場合、ダニサラバフロアブルを先に溶かす。</li> <li>・スターマイトフロアブル、ダニコングフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためダニサラバフロアブルは使用しない。</li> <li>・他に小粒核果類、ピーマン、花き類・観葉植物等で登録あり。</li> </ul>		
スターマイトフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハダニの全ての生育ステージに対して効果がある。</li> <li>・ダニサラバフロアブル、ダニコングフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためスターマイトフロアブルは使用しない。</li> <li>・ボルドー液との混用および4日以内の近接散布は効果が多いため避ける。</li> <li>・有袋栽培の汚なしに使用する場合、果実の葉斑が目立つおそれがあるので、袋かけ前の散布はしない。</li> <li>・ペワラン液剤、アリエティック水和剤と混用する場合、スターマイトフロアブルを先に溶かす。</li> <li>・有用昆虫(ミツバチ、マルハナバチ、マメコバチ)およびカリダニ等の天敵に対する影響が少ない。</li> <li>・他に小粒核果類、食用はおすき、りんどう、ピーマン等で登録あり。</li> </ul>		
ダニコングフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	-	-	-	-	2,000	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハダニの全ての生育ステージに対して効果がある。</li> <li>・天敵その他有用動物に対して影響が少ない。</li> <li>・ダニサラバフロアブル、スターマイトフロアブルを使用した場合、抵抗性出現防止のためダニコングフロアブルは使用しない。</li> <li>・ボルドー液との混用および4日以内の近接散布は効果が多いため避ける。</li> <li>・他に小粒核果類等で登録あり。</li> </ul>		
ダニゲッターフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハダニ類の全ステージに効果があるが、特に卵・幼虫に対する効果が高く、残効性が長い。</li> <li>・遅効的だが、成虫には不妊作用を示す。</li> <li>・ボルドー液との同時散布および前後14日以内の近接散布は効果が劣る恐れがあるので避ける。</li> <li>・新梢伸長期の日本なし(二十世紀を除く)に使用する場合、以下の事項に注意する。 (1)豊水、新長、高十郎には新葉に薬害を生じる恐れがあるので使用しない。 (2)有農りん剤との同時散布および10日以内の近接散布は新葉に薬害を生じる恐れがあるので避ける。</li> <li>・おうとうに使用する場合は、新梢伸長期に薬害を生じることがあるので、葉の硬化を持って使用する。</li> <li>・キャベツ、はくさい、こまつな、ねぎ、ばらに対して薬害を生じる恐れがあるので、付近にある場合からないように注意すること。</li> <li>・開花期の水稲に本剤がかかった場合、不稔などの薬害を生じる場合があるのでからないように注意する。</li> <li>・小粒核果類で登録あり。</li> </ul>		
バロックフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	-	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成虫に対する活性はないが、卵・幼虫・若虫の各ステージに活性が高く長い残効がある。</li> <li>・ボルドー液散布14日前まで使用し、ボルドー液散布後は使用しない。</li> <li>・すもも、花き類・観葉植物にも登録あり。</li> </ul>		
マイトコーネフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミツバチ・蜜およびカリダニ等の天敵に対する影響が少ない。</li> <li>・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。</li> <li>・小粒核果類、ミニトマト、ピーマン、食用はおすきにも登録あり。</li> </ul>		
コロマイト水和剤	○	2,000	-	-	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蜜に長期毒性があるので、桑葉にからないように注意すること。</li> <li>・乳剤は、薬害防止のため安全性が確認された薬剤のみ混用する。</li> </ul>		
コロマイト乳剤		1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,500	1,500	1,000	1,000	1,000	-	1,500	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳剤は、汎用性農着剤以外および葉面散布肥料とは混用しない。</li> <li>・乳剤はトマト、ミニトマトのコンナジラミ類、トマトサビダニ、ハモグリバエ類で登録あり。</li> <li>・乳剤は小粒核果類、ミニトマト、食用はおすきにも登録あり。</li> </ul>		
コテツフロアブル	×	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毒性があるので、桑園周辺では飛散しないように注意する。</li> <li>・ハクサイ、ダイコン、きゅうり、なすの幼蕾期は薬害の恐れがあるので使用不可。</li> <li>・オクラではオオタバコで登録あり。</li> <li>・スイカではミナキイロアザミウマにも登録あり。</li> <li>・小粒核果類、ミニトマト、ピーマン、花き類・観葉植物(きく、ストックを除く)にも登録あり。</li> </ul>		
ピラニカEW	○	-	1,000	1,000	-	-	2,000	-	2,000	2,000	2,000	2,000	-	1,000	-	2,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い)</li> <li>・サンマイト・ダニロンは交叉抵抗を示すので連用は避ける。</li> </ul>		
ピラニカ水和剤		1,000	1,000	1,000	(天敵種) 2,000	1,000	-	-	-	-	-	-	2,000	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・EWは花き類・観葉植物(カトツツ)、さくを除くで登録あり。</li> </ul>		
サンマイト水和剤	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	-	-	-	-	-	1,000	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い)</li> <li>・ダニロン・ピラニカは交叉抵抗を示すので連用は避ける。</li> </ul>		
サンマイトフロアブル		-	-	-	-	-	1,000	-	-	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	-	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フロアブル剤は、えだまめ、食用はおすきのコンナジラミ類に登録あり。</li> <li>・水和剤はすもも、キウイフルーツに登録あり。</li> </ul>	
ダニロンフロアブル	○	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	2,000	1,000	2,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原液を皮膚や目に直接付着しないようにする。(刺激が強い)</li> <li>・サンマイト・ピラニカは交叉抵抗を示すので連用は避ける。</li> <li>・キウイフルーツ、うめ、ミニトマト、ほうれんそう、ピーマン、花き類・観葉植物にも登録あり。</li> </ul>		
カネマイトフロアブル	×	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	1,000	1,000	-	1,000	1,000	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アリエティックと混用する場合は、カネマイトを先に希釈し混用する。</li> <li>・ボルドー液との混用は避け、近接散布は前後14日以上あける。</li> <li>・うめ、すもも、うり類(漬物用)、ピーマンにも登録あり。</li> </ul>		

※本資料作成以降に農薬の適用内容が変更になる場合もあるため、ご使用される際にはラベルの登録内容を再度ご確認ください。ご指導いただきますようお願いいたします。なお、記載している希釈倍数については、登録濃度の高い希釈倍数のみを記載しています。

※各薬剤共、ボルドー液と混用して使用すると効果が低下したり、残効期間が短くなるようなので留意願います。

※殺ダニ剤は抵抗性回避のため各薬剤共、年1回に敵守願います。